

おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 23 号 (11 月 10 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

県新人準優勝 東北大会へ

11月7日(土)、8日(日)と県新人の準決勝、決勝が行われました。準決勝の山東の相手は山形中央。県代表として選手権に出場する、いわずと知れた強豪校。MF、FWには3年生が入ったチームでもレギュラーを張っている選手がおり、山東にとって苦しい試合を予想させました。特に選手権県大会決勝で2得点1アシストの大車輪の活躍をした右MFの選手はまだ2年生で、ここをどう抑えるかが一つのポイントでした。

試合が始まるとやはり山形中央が押し込む展開。中央は、敵のDFとMFの間のいわゆるバイタルエリアを使う意識が強く、ロングボールで敵DFの裏を突くシンプルな攻撃ではなくボールポゼッション(ボール保有率)を高めながら落ち着いて攻めようとの共通認識が見受けられる。ただ、羽黒もそうでしたが、6月から新人チームで試合をしている山東と違い、中央は連携が今ひとつ。試合をしながらチームを形成して行ってる段階のように思えました(特にディフェンスにおいて)。その隙を山東FWがしばしば突き、山東もカウンターから攻め込む場面を作り始める。そうした中、前半の前半、CKのヘディングの競り合いの後の混戦の中から、ゴール前でゴールを背にした多田の右前方にバウンドしたボールがこぼれる。それを多田が右足アウト(またはインステップ)でボールを右後方へ飛ばすカンフーキック!!このシュートが見事決まり、序盤にして山東が先制する展開に。その後は手厚く攻める中央、速攻から一発勝負の山東といった展開が続く。中央の右サイドを手堅く抑えていた左DFの田嶋が先制のすぐ後に右足首を痛めて交代となるアクシデントがありましたが(診断の結果田嶋は右足首の複雑骨折でした)、代わってそのポジションに入った副キャプテンのナオがさすがのプレーでしっかりマッチアップしてくれ、前半中央を零封に。

後半はさすがにまずいと思った中央にエンジンがかかり、山東明らかな劣勢に。何とかしのいでいましたが、残り5分のところで、DF間がコミュニケーション不足からかクリアを躊躇。その隙に、中央右MFにボールをかつさらわれ、GKの股を抜くシュートを決められ、同点。簡単に試合は終わるはずがないと心の準備をしていたので発狂せずすみましたが、もったいない試合運び。「やはり番狂わせは起きないかな」との呟きが聞こえてきそうな展開で延長へ。

しかし延長に入ると山東の攻撃陣も息を吹き返し始め、延長前半は押し気味に試合を進め、延長後半へ。延長後半5分、途中出場の快速FW桂木がやってくれました!!中央DFがGKへバックパス、それを狙っていた桂木が猛然とGKへダッシュ。悠然とトラップしていたGKはあわててボールを蹴りだそうとするも、核弾頭桂木がボールをブロック。体のどこかに当たって跳ね返ったボールは中央ゴールへ真っ直ぐ飛び、待望の追加点。泥

臭い得点ですが、それこそ彼らし・・・いやいや、技術とは違った勝負強さで勝ち上がった山東らしい得点。その後は中央が最後の怒涛の攻撃を見せ、ヒヤヒヤさせられるも、何とかしのぎ切り、勝利。「やった～」と喜ぶというより、「これでいいんでしょうかね、フフ」とジンワリと笑いがこみ上げる勝利（結末）となりました。

11月8日（日）決勝の相手は日大山形。今期、何度も当たり何度も砕け散った相手。今月末には羽黒高校とプリンスリーグ東北の入れ替え戦を戦う強豪。敗れるにしても、五分五分の展開に持ち込んだことすらこれまでないので、山東の時間が多くなるゲーム展開を期待して試合に臨みました。しかし！試合開始から日大の競り合いの強さばかりが目立つ試合展開。これまで厳しい試合においても体を張って起点を作り続けてくれたFWも、ぴったりマークに付く日大ストッパーの激しい圧力に、なかなかボールを収めることができない。FWをMFが追い越すような攻撃を盛んに繰り広げることができればチャンスはできるでしょうが、そうするだけの時間を日大のプレッシャーが与えてくれない。クリアしてはボールをはじかれ、ドリブルで仕掛けられたところをCKに逃げ、セットプレーに強い日大の攻撃に冷や冷やする、そんな山東にとって面白味のない前半。しかししぶとく守りきり後半へ。

残り35分の大切さを説いて後半のピッチに選手を送り出しましたが、開始早々にFKを与えてしまう。いや～な感触はありましたが、前半も何度もあったCKを跳ね返していただけに、何とかなるのかな、という油断がありました（少なくとも顧問には）。ファーサイドへ蹴られたボールは、日大の中でセットプレーに際して最も警戒しなければならないボランチの選手へと渡る。体を投げ出して頭で合わせられ、山東のマークも付ききれずに、失点。その後は、左MFの嶋貫が快速を飛ばして右からのアーリークロスに合わせようとした（結局合わなかった）惜しいチャンスを除いて、山東の見せ場はほとんどゼロ。日大の強さを実感させられる、悔しい悔しい敗戦となりました。

日大のように、激しいマンマークによって敵に力を出させないで勝つチームに、まだまだ対応できていない現在の山東。決勝戦を見るに、準優勝とはおこがましいように思いましたが、何はともあれ、東北新人（1月29日～31日）という上位大会に出場する機会を与えてもらいましたので、少しでも少しでも、力をつけて東北大会で良い勝負ができるようがんばりたいと思います。

たくさんの保護者の方々（保護者OBの方々含め）、OB会の皆様、そして山東サッカー部元顧問の鈴木先生、佐竹先生（両先生とも今野の恩師）から、応援をいただきました。また2日間とも山東応援団幹部の皆様に応援に来ていただきました。ありがとうございました。また、サッカー部員ではありますが、モンテの熱狂的サポーターの1年生棚井は、モンテの応援でも使用しているドラムを用いて応援し、盛り上げてくれました。応援団幹部、サッカー部員は良いタイミングで校歌を歌ってくれるなど、これまでにない新趣向の（伝統的な！）応援をしてくれ、とても勇気づけられました（やはり伝統的な応援が良いですね～・・・って私の感覚が古いだけですかね）。多くの皆様の力添えがあり、このたびの結果をつかむことができたと思います。今後ともよろしく願いいたします。

試合ばかりが続きますが、今週末に、別紙のように1年生大会がございます。山東は1年が10人しかおらず、田嶋とヤスが県新人で怪我をしたので8人で試合に臨みます。玉砕必至となるでしょうが、面白い戦いにしたいと思います。応援よろしく願いいたします。11月14日（土）VS 山形南 於：山形中央グラウンド 11:00 キックオフ